

# 湛水土中（カルパー）直播栽培特報 第4号

平成28年7月  
富山市農業協同組合  
富山農林振興センター

本年は気温が高く推移していることから、生育は  
かなり早まわっており、5月3日播種のほ場で幼穂  
形成期が7月14日頃と、平年より4日早くなりま  
した。

今後は、生育ステージにあわせた水管理の徹底と、  
生育状況に応じた追肥対応で、登熟期間の稲体活力  
維持対策に努めましょう。

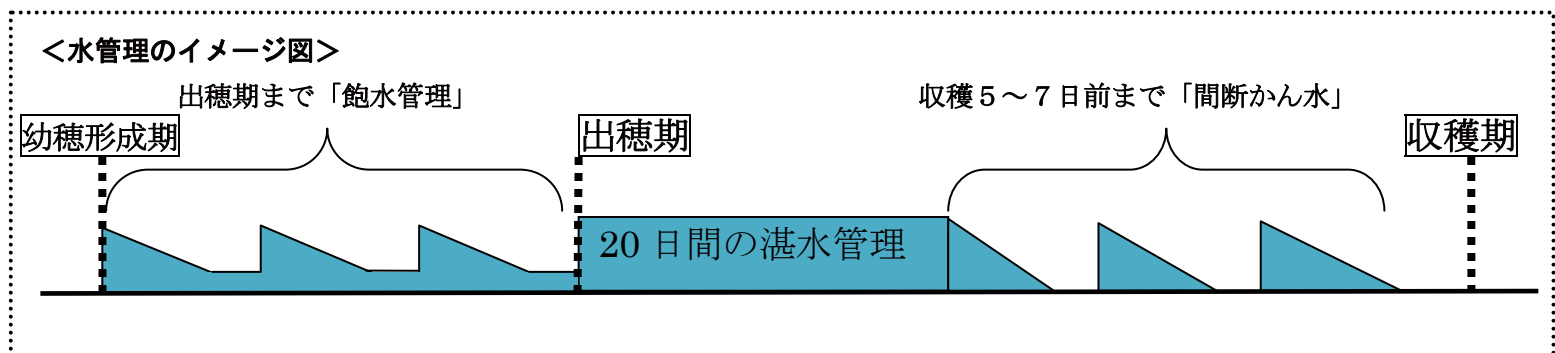
表 湛水直播コシヒカリの生育状況  
(7月19日現在：富山地区調査ほ3ヶ所平均)

年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉齢 (葉)	葉色
28年	87.5	488	12.2	4.0
平年(H18~27)	76.8	495	11.4	3.9

生育ステージの予想(5月3日播種)  
幼穂形成期 ⇒ 7月14日  
出穂期 ⇒ 8月4日頃

## 水管理

- 直播は根域が浅く乾燥に弱いため、出穂までは水不足にならないよう「飽水管理」を行いましょう。
- 出穂後20日間は湛水状態を保ち、その後は刈取りの5～7日前まで間断かん水を続けましょう。
- フェーン現象が予想される場合は、あらかじめ湛水しておきましょう。



## 出穂前の葉色確認・追加穂肥

- 必ず出穂7～10日前頃に葉色の確認を行い、葉色3.8（砂壤土では4.0）を下回る場合は、速やかに追肥化成3号で7kg/10aを施用し、穂揃期の葉色を4.2～4.5（砂壤土は4.5）へ誘導しましょう。

## 病虫害防除

- 品質向上のため、斑点米の原因となるカメムシ類やいもち病等の防除の徹底を図りましょう。



**6月21日にカメムシ類多発注意報が発令されました！！**

品種：コシヒカリ

防除時期		対象病虫害	農薬名	10a当たり 散布量
生育ステージ	時期の目安			
穂揃期	8/8～10頃	いもち病 ウンカ類、カメムシ類	ラブサイドキラップ 粉剤DL	4kg
傾穂期	8/15～17頃	ウンカ類、カメムシ類	スタークル粉剤DL	3kg



図 主な斑点米カメムシ類  
左：アヒゲホリドリカスミカ  
右：アスジカスミカ

- ※ほ場の生育ステージにあわせて、適期に防除しましょう。
- ※カメムシ類に対する防除効果を高めるために、散布間隔は7日間を目安とし、10日以上あけないよう、計画的に実施してください。

農薬の散布は、使用基準を必ず守り、風速・風向きに注意し、周辺への飛散防止に努めましょう